

Vol.19(2021) No.17(08/19)L04

オリジナル、B.1.1.7(アルファ株)及びB.1.351(ベータ株)/P.1(ラムダ株)のSARS-CoV-2系統がCOVID-19 mRNAワクチン2回接種の有効性に及ぼす影響:フランスにおける全国的な症例対照研究の結果

[Impact of original, B.1.1.7, and B.1.351/P.1 SARS-CoV-2 lineages on vaccine effectiveness of two doses of COVID-19 mRNA vaccines: Results from a nationwide case-control study in France](#)

Charmet T, Schaeffer L, Grant R, et al.

【Lancet Reg Health Eur. 2021 Sep;8:100171】-peer reviewed(査読済み)

(抜粋・要約)

◇背景

フランスで流行する新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のオリジナル株と、変異した系統株に対する、mRNA COVID-19ワクチンの2回接種の有効性を評価することを目的とした。

◇方法

全国規模で実施したこの症例対照研究は、2021年2月14日から5月3日の期間に発症した、成人の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)患者を対象に実施した。コントロール群は、全国から年齢、性別、地域、人口密度、暦週が患者群と一致する、非感染の成人とした。調査参加者にはオンラインで、最近の活動履歴、ワクチン接種歴に関するアンケートを実施した。感染ウイルスがB.1.1.7系統株かB.1.351 /P.1系統かの情報は、RT-PCRスクリーニングにもとづいた。

◇調査結果

我々は、オリジナルのSARS-CoV-2ウイルス株に感染した7,288人、B.1.1.7系統変異株に感染した31,313人、B.1.351 / P1系統変異株に感染した2,550人、およびコントロール群の成人3,644人について分析を行った。多変量解析により2回目mRNAワクチン接種から7日後の有効性[95%信頼区間(CI)]は、ウイルスのオリジナル株、B.1.1.7株、B.1.351 /P.1株において、それぞれ88%(81-92%)、86%(81-90%)、77%(63-86%)と見積もられた。ワクチン接種から比較的早い時期(2~6か月)にウイルス学的に確定診断されたSARS-CoV-2感染において、オリジナル株、B.1.1.7株、B.1.351 /P.1株によるCOVID-19に対するワクチン有効性は、それぞれ83%(95%CI: 76-88%)、88%(同85-91%)、83%(同71-90%)であり、さらに接種から6か月经過以降においては、それぞれ76%(95%CI:54-87%)、84%(同75-90%)、74%(同41-89%)のワクチン有効性が確認された。

◇解釈

実際の環境下では、COVID-19に対するmRNAワクチン2回接種は、元のウイルス株、B.1.1.7株とB.1.351 /P.1株において、各々有効であることが証明された。

◇資金提供

パスツール研究所、REACTing(新興感染症を対象とするResearch&Action)、フランス財団(Tous unis contre le virus共同研究)。